

健常者と異なる判断基準

おくちの 相談室

【問い】83歳の母親が訪問歯科診療を受けていますが、ぐらぐらしている歯や折れている歯が4本あり、抜いた方が良いと言われました。歯は残した方が良いのでしょうか？
（長崎市、60歳女性）

【答え】「歯は残した方が良い」というのは正しいことです。それだけに、お母様の歯を抜くことに抵抗を感じられたことでしょうか。しかし、

状況にもよりますが、寝たきりの高齢者は多くの場合、健常の人とは歯を保存する判断基準が異なります。通常は歯科衛生士による訪問診療などで専門的口腔ケアを行います。それでも▽歯や歯肉の痛みを繰り返す▽歯の動揺の改善が難しい▽脱落して飲み込みそうな歯がある▽などの場合、早期の抜歯を提案することになります。

さらに、歯肉の炎症が解消できない場合は、口の中だけでなく▽粘膜のバリアーが阻害されて、のどからウイルスなどが侵入しやすくなる▽脳梗塞、心筋梗塞および糖尿病

などのリスクを高める▽誤嚥性肺炎を引き起こす▽など、生命に関わる影響があることが分かっていきます。また、体調が悪化すると、口の中に症状が起こりやすくなるにもかかわらず、体力が低下しているので処置が困難な状況に陥りやすくなります。状況が許すのであれば、早めに歯科医師と相談した方が良いでしょう。

現在、80歳で20本以上の歯を持つ方は割合を超えています。年齢を重ねると徐々にその維持は難しくなります。特に寝たきりになると食事や排泄のケアが中心で、口腔ケアは後回しになりがちです。症状が出たときには歯周病やむし歯が進行していることも少なくありません。これは30年以上前の歯のない高齢者が多かった頃と比べて、大きく変わったところです。

従って、本来は健康なうちから切れ目なく歯科のサポートを受けておくことが重要です。相談者の方もかかりつけの歯科医院で相談ください。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索できますので参考にしてください。

寝たきりの高齢者の抜歯



回答者
出口 繁
長崎市花丘町
おくち歯科医院長